

第115 世界の人とふれあいタイム

カナダの話

ダンカン・マッキンタイアさん

日時：2025年6月29日(日)

(10:30~12:30)

会場：八王子市学園都市センター
第5セミナー室

(フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』)

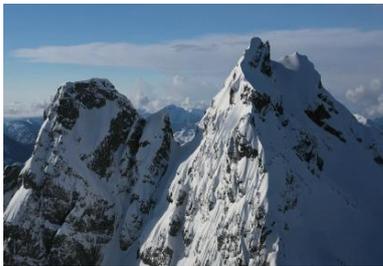
今回ゲストのダンカンさんは来日40年です。カナダやフランス、日本でのご生活経験や、生涯にわたる教育とコミュニケーションへの関心などについて、語って頂きました。

ブリティッシュコロンビア州のバンクーバーでスコットランド系カナダ人の家庭に生まれ、カナダ・ビクトリアで幼年期を過



【ブリティッシュコロンビアの地形】

ごし、地元で多文化社会に目覚めました。高校では、演劇に熱中しミュージカルを制作したそうです。卒業後ブリティッシュコロンビア大学では、政治哲学を専攻し、多文化主義とフランス哲学に興味を持ち、音楽やフェスによる世界文化との出会いもありました。



【ブリティッシュコロンビア州の山脈】



【バンクーバー】



【カナダ・ビクトリア】



【ハウスワース セコンダリースクール】



【UBC】



【人類学博物館のトーテンポール】【UBCにある新渡戸庭園】



その後ソルボヌン大学大学院では、日本の教育改革をテーマに修士論文を書き、言語学習では人生を変える体験をしました。

一方、株式会社サイは1991年設立で、社名の「サイ」は、カナダの政党とイヨネスコの『犀』の劇からの由来で、ダンカンさんがオーナーです。



【奥さんと愛犬ベラ】

2007年からは、シャイン・オン!キッズでのボランティア活動・小児がん子供スピーカーの育成映像をとおしてストーリーを伝える活動も行っています。

補助犬教育では、愛情とポジティブを学び、「ダメな犬はいない!」哲学に共感したそうです。その後がんサバイバーとなって、自分の病気を経て、子どもと共感することで毎日をより楽しむようになったそうです。

最後に Natural Intelligence (自然との調和)の重要性を認識したことです。例えば、生き物とのコミュニケーションもその一つで、人間らしさや、対話の重要性を信じているそうです。将来の夢は、日本にホスピタル・ファシリティ・ドッグの文化を根付かせ、高齢者に対して「話し相手」を届けることです。



アンケート結果では、「ダンカンさんの生き立ち、人生、出会い、文化や哲学をとおして福祉の分野でも活躍されていて、大変素晴らしかった」との回答でした。

(世界の人のふれあいタイム 委員長 生山 龍哉)

※次回:2025年10月26日(日)10:30~はトルコです。